

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年2月15日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年2月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【既設多核種除去設備(C)共沈・供給タンクC出口配管洗浄元バルブのシート漏えいについて】 既設多核種除去設備(C)共沈・供給タンクC出口配管洗浄元バルブで※シート漏えいを確認。 当該バルブの前方のバルブを閉め、シート漏えいは停止。今後、修理予定。 外部への漏えいなし。既設多核種除去設備(C)の運転に影響なし。 ※シート漏えい:バルブ内シートの隙間から配管内部に漏えいすること	GⅢ